



特定非営利活動法人
まちなか研究所

わcわc

2024年度 事業報告書

-第21期-

目次

ミッション

2024年度ハイライト

Special Thanks

事業部総括

組織運営

体制



当会の使命と基本理念



【使 命】2004年設立(2005年2月法人認証)

すべての人々が、自ら暮らすまちを
想い、考え、納得してつくっていける市民社会の実現

【合言葉】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、
まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と社会環境をつくります。

【基本理念】

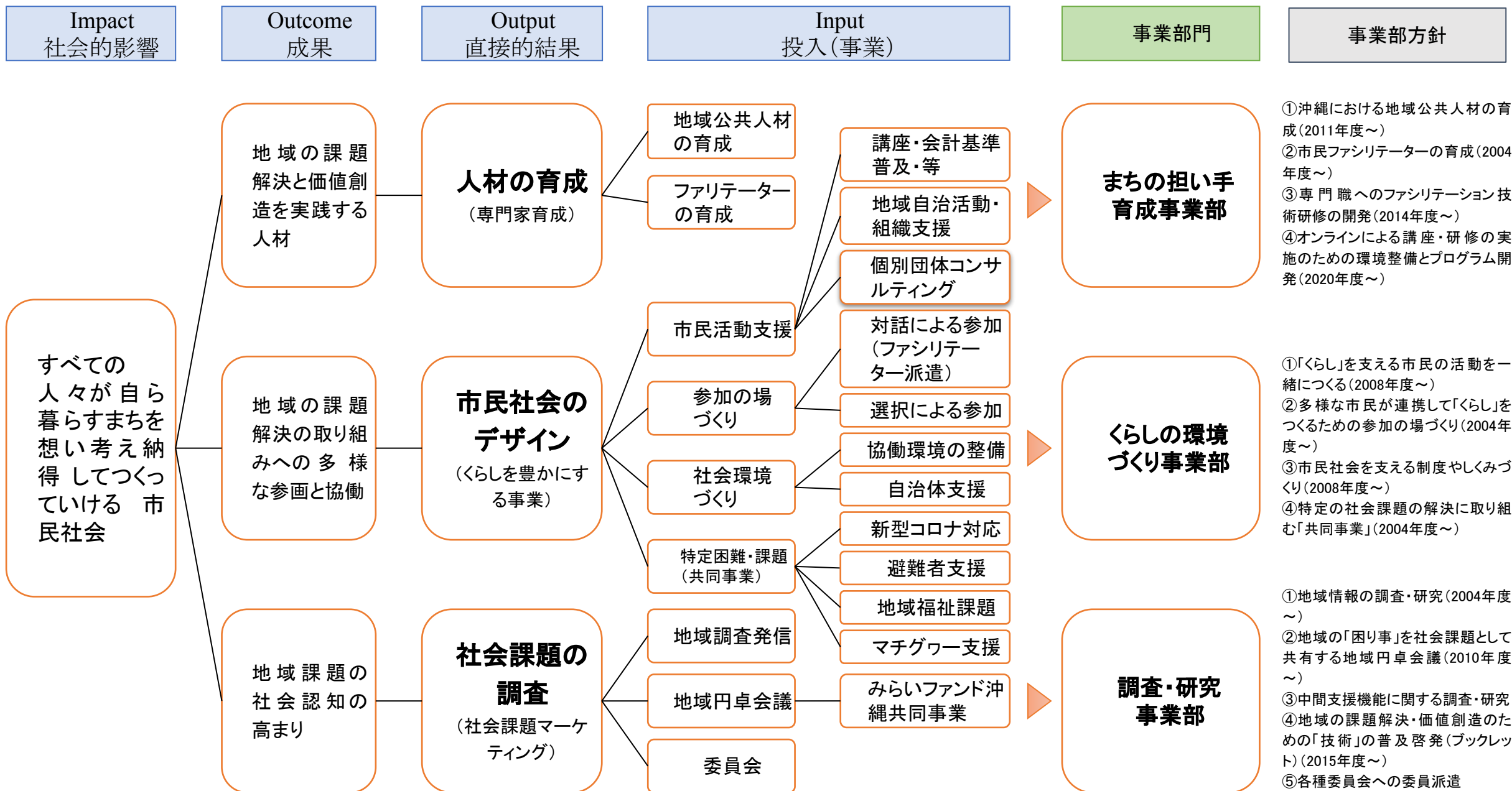
- みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- 地域のNPOモデルとなる継続的な市民活動の組織運営

法人概要



名称	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく
設立年月日	2004年4月1日
法人設立年月日	2005年2月25日 NPO法人格取得
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	宮道 喜一
住所	〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-7-5民衆ビル4F
TEL & FAX	098-861-1469
Email	office@machiwaku.com
URL	https://machiwaku.com/

事業部門



2024年度事業ハイライト

なはSDGs推進事業(多様なつながり地域づくり)の実施

(公財)みらいファンド沖縄、ケイスリー(株)、プラスソーシャルインベストメント(株)と共に、那覇市より本事業を受託。令和6年度なはSDGs推進シンポジウムを実施し、助成事業の募集(2団体、助成額50万/1団体)・選考会、助成団体への伴走支援、地域円卓会議等を行った。また次年度実施に向けた、那覇市版SIB導入のための検討会議も行った。

ぎのわん地域づくり塾 2024の実施

「令和6年度宜野湾市地域リーダー等養成講座事業」(宜野湾市)を受託し、宜野湾小学校区をモデル地区に第7期となる「ぎのわん地域づくり塾2024」を実施。塾生16名が3チームに分かれ、地域で気軽に遊べる場につながる企画提案を行い、14名が修了した。2016年第1期から第7期までの修了生は150名。

6社協にて、アドバイザー業務を実施

読谷村、北中城村、北谷町、糸満市、伊江村、うるま市の6社会福祉協議会において、「中期経営計画等の策定」「第2層・第3層協議体の運営」「職員一体となった地域支援アプローチ」「災害ボランティアセンター設置運営訓練」「BCP策定」等のアドバイザー業務を担った。

福島県県外避難者支援 今年度でまちわく・沖縄じゃんがら会の2団体での受託終了

2015年度から沖縄じゃんがら会と協働で県外避難者支援事業を受託して10年、2024年度で当会の受託終了。事業終了を見据え、今後も各市町村で避難者支援が継続して実施できるよう、これまでネットワークを築いてきた関係機関と今後支援いただきたい関係機関を訪問(14回)を実施。

市場中央通り第1アーケード完成

那覇市第一牧志公設市場の建て替えに伴い撤去された市場中央通り第1アーケードの再整備が完了した。2018年度より市場中央通り第1アーケード協議会のサポートを行った。

地域円卓会議を年19本実施

2024年度に19回の地域円卓会議(うち派遣1件)を開催。2011年度から2024年度までで、計162回開催。

宮道喜一が代表理事に就任

設立20年に合わせて、小阪亘が代表理事を退任し、宮道喜一が代表理事に就任した。



なはSDGs推進事業_助成事業募集説明会の様子



2024.11 市場中央通り第1アーケード
完成セレモニー

machiwaku

20th anniversary



**まちわく20周年
記念事業**



まちわく20周年記念事業

設立20周年記念として、主に理事・会員をメンバーとした「まちわく20周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、各20周年関連事業を実施した。

- ・実行委員:16名(理事・会員11名+まちわく5名)
- ・実行委員会実施回数:10回

1)ふりかえり&これから座談会(全3回)

各回のテーマに合わせてゲストスピーカーをお招きし、当時の出来事や社会的背景をふくめ、これまでの取り組みを振り返りながら、みんなで今後の活動について考えました。



第5回 20周年記念事業実行委員会



第1回テーマ

まちわく創設期

日 時:2024年8月9日(金)19:00-20:30

場 所:なは市民活動支援センター会議室1

ゲスト:佐々倉 玲於氏、野原巴氏

参加者:26名



第2回テーマ

地域課題の共有と人材育成のしくみ「沖縄式地域円卓会議」と「沖縄地域社会ビジョン大学院」

日 時:2024年10月11日(金)19:00-20:30

場 所:天久ヒルトップ 地域交流室

ゲスト:平良斗星氏、安慶名豊美氏、金城隆一氏

参加者:25名



第3回テーマ

まちわく20年・1万人井戸端会議10年のあゆみ

日 時:2024年12月10日(火)19:00-20:30

場 所:那覇市繁多川公民館 2F研修室

ゲスト:南信乃介氏、續洋子氏、小阪亘

参加者:28名

2) つぎの10年ビジョンワークショップ

沖縄における市民参加の現在地を確認し、次の10年の事業展開のために、まちわくが大事にしたいことを話し合うワークショップを、例年1月に行っている【拡大理事会】の位置づけとして開催しました。

- ・日時: 2024年11月12日(火) 19:00-21:30
- ・会場: まちわく事務所
- ・参加者: 12名
- ・ファシリテーター: 安谷屋貴子氏



3) 新春！NPO・市民活動交流&意見交換会 ー今までとこれからー

NPO・市民活動という立場で、沖縄の市民社会の実現に向けて取り組まれている方々との交流・意見交換会を開催しました。

- ・日時: 2025年1月10日(金) 19:00-21:00
- ・会場: なは市民活動支援センター 会議室1
- ・参加者: 20名
- ・進行: 宮道喜一



4)machiwaku 20th anniversary 座談会 & 交流会

これまで当会を支え関わっていただいたみなさんと、これまでの足跡を振り返るとともに、新たなビジョンに向かって進んでいきたいとの思いから、まちわく20周年イベントを開催。

■日 時 2025年2月23日(日)第1部 9:30～11:30 座談会 第2部 12:30～14:30 交流会

■会 場 那覇セントラルホテル(那覇市牧志2-16)

■参加費 第1部:1,000円(学生500円) 、第2部:8,000円(飲食あり)

■プログラム

【第1部 座談会】

「沖縄から描く地域づくりの未来～暮らしの視点から、次の10年とまちわくの役割を考える～」

座談会では、ゲストスピーカーをお招きし、これまで歩んできた20年をふりかえりながら、沖縄の地域社会のこれからと当会の役割について考えました。

(スピーカー)

川中 大輔 氏(シチズンシップ共育企画 代表)

小松 かおり 氏(北海学園大学人文学部 教授／マチグワー楽会運営委員)

宮城 潤 氏(那覇市若狭公民館 館長／NPO法人地域サポートわかさ 事務局長)

大城 健 氏(社会福祉法人北中城村社会福祉協議会)

宮道 喜一(NPO法人まちなか研究所わくわく 代表理事)

【第2部 交流会】お世話になったみなさまと思い出を語り合い、はじめましてのみなさまとのこれからのお話する場、参加者同士の出会いの場として開催。

(プログラム)

- ・まちわく20周年スライドショー
- ・乾杯
- ・花束、記念品の贈呈など
- ・参加者インタビュー♪
- ・感謝状贈呈



5) 記念グッズの制作・販売

まちわく設立当初から使用しているロゴマークをあしらったエコバッグ、米米バッグ、付箋紙、マグネットを制作し、20周年記念グッズとして販売。

①付箋紙&マグネット&缶バッジ (限定50セット！) ￥500(税込)

まちわくロゴと那覇の街並みをデザインした付箋紙、まちわくロゴのマグネット、20周年デザインの缶バッジのセットです。



②エコバッグ(限定50個！) ￥2,000(税込)

A4ファイルなども入るサイズの厚手のトートバッグ。まちわくロゴマークを中心にあしらった20周年デザインです。



③米米バッグ(限定30個！) ￥1,000(税込)

設立メンバーでロゴをデザインした武田佳子さんに作成いただきました。お弁当や、ワークグッズが入る使いやすいサイズのバッグです。使い終わった米袋を再利用して作られた「米米バッグ」。ひとつひとつ異なるシワの風合いを、お楽しみください。



6) 20周年記念誌作成

まちわく20周年記念誌を作成。デザインは「OLDe 武田佳子」に依頼。令和7年5月に発行予定。

2024年度 組織運営

会 員	正会員16名／賛助会員5名(6口)
通常総会の開催	2024年5月17日(金) 19:30～21:00 てる屋にて開催
臨時総会	2024年6月25日(火)18:30～19:00 役員報酬規程の承認
決算理事会の開催	2024年4月28日(日) 10:00～12:00 まちなか研究所わくわく事務所にて開催
理事会の開催	まちなか研究所わくわくの運営に関して理事による運営会議を開催。必要に応じて、理事会を開催 (理事会:年7回、理事ミーティング:年3回、拡大理事会:11月)
監 査	2024年4月26日(金) 19:00～20:30
関連団体	公益財団法人みらいファンド沖縄 マチグワー楽会
加盟組織	小規模多機能自治推進ネットワーク会議(会員) NPO法人会計基準協議会(会員) 新栄通商店街振興組合(会員) ※NPO法人日本NPOセンターから退会

2024年度 理事会の役割・内容

- 1. 中長期的な計画や予算・組織編制・人事など、団体の方針に関する判断(意思決定)
- 2. 助言やイベントへの協力など、現場の支援
- 3. ネットワーキングなど、外部への働きかけ

月		内容
4月	4.3 第1回理事会 4.28 決算理事会(第2回)	・2024年度事業計画・予算計画・職員基本給 ・2023年度事業報告・決算・2024年度予算の補正・役員候補者の承認・通常社員総会の開催
5月	5.17 第3回理事会	・代表理事・副代表理事の選任
6月	6.19 第4回理事会 6.25 第5回理事会	・臨時総会の招集・臨時総会の議案(役員報酬規程) ・役員報酬
7月	7.10 第6回理事会	・役員関連会社との取引(なは SDGs 推進事業における協力連携業務の委託)
9月	9.20 第1回理事ミーティング	
11月	11.12 拡大理事会	つぎの10年ビジョンワークショップ(20周年記念事業)
2月	2.5 第2回理事ミーティング	
3月	3.19 第7回理事会	・2025年度事業計画・予算計画・職員基本給

2024年度 事務局体制

事務局長	宮道喜一
まちの担い手育成 事業部	常勤:宮道、小阪亘、下地美香、金城陽平 非常勤:樋口文
くらしの環境づくり 事業部	常 勤:宮道、小阪、下地、金城 非常勤:樋口文
調査・研究 事業部	常勤:小阪、宮道、下地、金城 非常勤:樋口
総務・経理部	常勤:小阪、宮道、下地
受入インターン	—

職員が外部役職を
務める主な団体

宮道喜一 NPO法人ハンディサポートふれんど 理事
一般社団法人災害プラットフォームおきなわ 理事
一般社団法人FEEL Do 理事
マチグワール楽会 運営委員・事務局
社会福祉法人沖縄県共同募金会 評議員
社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 評議員
社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 総合企画委員会 委員
社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター 運営委員長
石嶺小学校区まちづくり協議会 子ども育成部会 部会長
ミネコヤ 会長

小阪 亘 公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事
認定NPO法人アンビシャス 理事
株式会社オフィスハート 役員

2024 Special Thanks (敬称略)

まちわく20周年記念事業

- 実行委員
南信乃介、岩田直子、與儀隆一、親泊正樹、知念忠彦
佐藤学、萩原若造、饒波正博、平中晴朗、賀数邦彦、續洋子
- machiwaku 20th anniversary 座談会 & 交流会 当日ボランティア
稲住光祐、新垣多美子
- 20周年ロゴ作成、記念誌デザイン、HPリニューアル
OLDe 武田佳子
- 20周年記念品寄贈(プロジェクター)
小松かおり

ぎのわん地域づくり塾2024

- モデル地区協力自治会
 - 中原区自治会 会長 大屋正勝
 - 愛知区自治会 会長 金城信枝



市民社会を実現する まちの担い手育成 事業部

市民がまちの担い手として活躍する市民社会の実現に向けて、地域の課題解決と価値創造を実践し、多種多様なまちの主体をつなぐことのできる人材の育成。

●事業部方針(2024年度)

- ①沖縄における地域公共人材の育成(2011年度～)
- ②市民ファシリテーターの育成(2004年度～)
- ③専門職へのファシリテーション技術研修の開発(2014年度～)



方針 番号	事業分類	実施 時期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	地域公共人材の育成	—	■ぎのわん地域づくり塾2024(宜野湾市地域リーダー等養成講座) ・フィールド:宜野湾小学校区 ・塾生16名(修了生14名、内皆勤賞4名) ※募集定員:40名 ・日程:9/18(水)~11/2(土)(全8回講座) ・会場:中原区公民館・愛知区公民館・宜野湾市社会福祉センター・宜野湾市役所 ■2/17「令和6年度各区福祉推進委員会活動推進研修会」(名護市社協)	2,636
②	講師・ファシリテーター派遣による市 民ファシリテーターの育成	通年	■12月「令和6年度中堅民生委員・児童委員研修(本島、宮古、八重山)」(沖縄県社協) ■2/4「八重瀬町民生委員児童委員協議会研修会」(八重瀬町民生委員児童委員協議会) ■1/9「議員のための話し合いの場づくり研修」(宜野湾市議会)	243
③	専 門 職 へのファシリテーション技術研修	通年	■11月「中社連福祉推進部会研修会」(中社連福祉推進部会) ※社協職員のための参加の場づくり研修／全4回(うるま市社協) ➡くらしの環境づくり事業部＞社協アドバイザリー業務として実施	27

ふりかえり	申し送り
◆沖縄における地域公共人材の育成（ 2011年度～） ＜沖縄地域社会ビジョン大学院＞ 2023年度のゼミ（全4回）を踏まえ、運営協議会を実施するも、プログラム検討・実施には至らなかった。 ＜ぎのわん地域づくり塾2024＞ - 昨年度より小学校区をモデル地区に開催。テーマを「だれでも気軽に遊べる場」として、昨年度のプログラムを講座順番を変更するなどブラッシュアップして実施 - 事業の実施体制として、昨年度の宜野湾市市民協働課、市教育委員会生涯学習課に加え、市社協が運営に参加し、4者で運営を実施することができた - 受講生16名／40名定員。昨年度より広報に力を入れ、モデル地区内の自治会長2名が塾生として参加したものの受講生は1名しか増えなかった。昨年度も受け、再受講の方が3名いた - 受講生16命中14名が修了し、全体的な講座内容の満足度は昨年度より高かった - 講座修了後の接続として、チームの企画提案から宜野湾市のまちづくり助成に申請したチームが1チームあり、その後の動きにつなげることができた ＜その他＞ - 民生委員研修（会長・地域）の講師を担当 ◆市民ファシリテーターの育成（ 2004年度～） ＜主催ファシリテーター講座＞ 未実施 ＜ファシリテーター・講師派遣＞ なし	＜沖縄地域社会ビジョン大学院＞ - ゼミ（全4回）のまとめを行う - 年度はじめに運営協議会を開催し、社会変化等を見据えたプログラムを検討（目的、期間、目指す人材像等）、社会ビジョンを実現した人から学ぶなど、助成金の活用を検討 - 修了生の出会いなおしの場づくり ＜ぎのわん地域づくり塾＞ - 公募型となり、モデル地区選定と講座実施までに時間がかかるため、公募の時期を早められるよう担当者と調整。モデル地区承認にあたっては、公募前に宜野湾市から調整を進められるよう働きかける - 塾生募集について、ターゲットの明確化を行い、商工会等への協力調整 - 提案された企画について、地域から資金を調達するしかけや、企画実施をバックアップするしくみがほしい ＜地域公共人材の育成について＞ - 民生委員児童委員協議会に関する研修（講師派遣）として、3年に一度の一斉改選（2025年12月）と3か年の任期スパンにあわせた研修企画の検討
	- 主催講座の検討・開催（まちわくと外部のダブル講師） - 円卓会議のプロセス、ファシグラ（板書）、多職種・マルチステークホルダーによる課題解決に向けた「話し合い」の場づくりと進め方など - 外部ニーズだけでなく、まちわく内部ニーズに基づくテーマ設定も検討 - ボランティア・市民参加をどう促していくかのメッセージを発信
◆専門職へのファシリテーション技術研修の開発（ 2014年度～） 地域福祉領域や児童分野など、多職種連携が求められる現場でのファシリテーション技術ニーズの広がり	- 地域福祉推進の現場（地域ケア会議、民児協定例会議、協議体の運営等）、地域福祉コーディネーター職に向けた研修の機会提供について検討 - 建設・まちづくり現場におけるファシリテーションについては、ニーズを再確認



2024年11月20日：中社連福祉推進部会研修会



ぎのわん地域づくり塾 2024 第1回&2回講座 参加者自己紹介



2024年12月19日：中堅民生委員・児童委員研修(機能別：本島地区)



2025年1月9日：宜野湾市議会・議員研修「市民との意見交換におけるグループディスカッションの手法」

市民社会をデザインする くらしの環境づくり 事業部

市民の力で自ら暮らすまちをつくる事業部。

●事業部方針(2024年度)

- ①「くらし」を支える市民の活動を一緒につくる(2008年度～)
- ②多様な市民が連携して「くらし」をつくるための参加の場づくり(2004年度～)
- ③市民社会を支える制度やしきみづくり(2008年度～)
- ④特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」(2004年度～)



方針 番号	事業分類	実施 時期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	市民活動・NPO 活動等の基盤強化	10-3月	■沖縄県NPO等支援個別相談事業「NPO法人等非営利組織専門家個別相談会」 2/19(水)「NPO法人等非営利組織専門家個別相談会in宮古」(相談2件)、3/18(火)、19(水)、21(金)「NPO法人等非営利組織専門家個別相談会」(相談18件)	1,039
			■なはSDGs推進事業～多様なつながり地域づくり～(那覇市) 令和6年度なはSDGs推進シンポジウム、SDGsコーディネーター相談会(相談件数17件)、助成事業の募集(2団体、助成額50万/1団体)・選考会、助成団体への伴走支援、地域円卓会議(3本)、那覇市版SIB導入のための検討会議の実施等	5,399
		通年	■組織支援 NPO法人等個別相談2件※相談記録の件数 等	4
		通年	■おきなわ市民活動支援会議	-
②	「くらし」をつくる ための参加の場 づくり	通年	■参加の場づくり(講師・ファシリテーター・板書派遣) 6月DWAおきなわ報告会(県社協)、9月BCP策定運用研修(県社協)、10月食支援勉強会(みらいファンド沖縄)11月ボランティア受入講座(なは市民活動支援センター)、11月BCP研修(うるま市社協)、11月認知症シンポジウム(沖縄認知症見守りコンソーシアム)、1月職員WS(西原町社協)1月沖縄県協働に関する研修(沖縄県)、1月再犯防止セミナー((有)のれんずプロ)、2月企業団体地域貢献セミナー(県社協)、2月支え合い委員会報告会(宜野湾市社協)、2月再犯防止×地域創生WS(福岡矯正管区)、2月認知症シンポジウム(沖縄認知症見守りコンソーシアム)、3月宮古市民ワークショップ(MK BRAND)、3月児童養護施設BCP、等の講師・ファシリ、板書派遣 ■「小さな拠点」及び地域運営組織の連携・協働促進に関する調査・検討業務(ランドブレイン(株)) 小さな拠点Hub那覇開催セミナー／開催日:2025/1/19-20、全国フォーラム登壇／2025/2/25(東京) ■「多様な連携で実現する「尊厳を守る」沖縄の食支援を考えるシンポジウム」準備・運営((公財)みらいファンド沖縄) 開催日:2025/3/9(日)10:00-13:00、参加者数:54人	1,330
③	市民社会を支える制度やしきみづくり			-
④	特定の社会課題 の解決に取り組 む「共同事業」	通年	■福島県県外避難者への相談・交流支援事業 県外避難者への生活再建支援拠点設置・運営。福島県事業。ふくしま連携復興センターより、沖縄じゃんがら会と共同事業体で受託。連携の取り組みとして関係機関訪問を実施。	5,202
		通年	■地域福祉課題:市町村社会福祉協議会アドバイザー業務 右記の6社協(読谷村／北中城村／北谷町／糸満市／伊江村／うるま市) 市町村社協災害対応マニュアル策定に向けた個別検討会:伊平屋村／伊是名村／今帰仁村(沖縄県社協)	5,536
		通年	■市場中央通り第1アーケード協議会運営支援 :会議支援・NEWSの作成支援、完成セレモニー(11月)支援、8月アーケード完成	398
		2月	■マチグラー楽会(第17回) テーマ:復活!アーケード、開催日:2025/2/22(土)	-
		12月	■事業協力「東日本大震災の経験を教訓へ～宮城で育んできた防災力実践報告・プログラム体験・情報交換会～」(くらしの学びサポートオフィスHumanBeing)、開催日2024年12月6日	-
		5月	■能登半島地震支援:「輪島市災害たすけあいセンター(輪島市社会福祉協議会内)」への運営支援(支援P派遣(宮道))	

ふりかえり	申し送り
◆「くらしを支える市民の活動と一緒に作る(2008年度～) ＜沖縄県NPO等支援個別相談事業＞ ・ 会計・税務と組織運営相談の他、労務相談と業務改善／DX化相談を加えた。労務相談が早々に相談枠が埋まるなど、ニーズの高さが見えた ・ 宮古相談会は、事前に新聞記事へ開催告知をする等行ったが、会計・税務相談の申込はなく、組織運営相談も本来3件の相談枠に対し2件にとどまった ・ 相談時間を間違える相談者が数名いた。事前にメールを送りメール確認は行っているが、メール確認の徹底が必要。 ＜なはSDGs推進事業＞ ・ 那覇市版SIBの実装に向けて協力団体とスキームを検討し選考委員と議論を重ねた。 ・ 「成果連動型補助金SIB」は、これまで那覇市にない取り組みのため広く広報を行う必要があったため、シンポジウムや円卓会議、事業パンフレット等を通し広報を行った。	＜沖縄県NPO等支援個別相談事業＞ ・ 一般社団法人や団体の立ち上げを考える個人の相談者は、役所の窓口で相談会を知った方が多かったため、引き続き市町村の市民活動窓口にはチラシの配布を行う。 ・ 離島の相談会は、年々相談者の数が減っている。NPO法人だけでなく、他法人にもアプローチ・広報の工夫が必要 ＜なはSDGs推進事業＞ ・ (公財)みらいファンド沖縄、ケイスリー(株)、プラスソーシャルインベストメント(株)と共に、事業提案を行い、那覇市版 SIBを実施する。 ＜災害時の中間支援機能強化＞「一般社団法人災害プラットフォームおきなわ」が行う「沖縄における災害支援ネットワーク構築に向けた取り組み」への参画を検討
◆多様な市民が連携して「くらし」をつくるための参加の場づくり(2004年度～) ・ 「対話」をベースとした参加の「広がり」と「深まり」への戦略を検討 ・ 「行政計画・事業への参加」から、「住民による主体的な課題解決」の要請、「制度化された住民参加」へどう向かうかの戦略を検討 ・ NPOを通じた社会参加の機能、「ハード」「ソフト」のまちづくりへの参加、地域福祉領域・教育領域などにおける参加の場づくりについての戦略検討と、気軽なハードルの低い社会参加の形を検討する。新しい参加の形研究会(仮称)の実施等	・ 福祉・児童施設等のBCP策定支援において、高齢・障がい事業所は義務化＆研修・訓練実施に向けた支援、児童福祉施設のBCP策定が努力義務 ・ 市町村社協アドバイザー(6社協) ・ 社教職員のための連続講座【主催】県社協協力など、(社協基本要項を読み解く、地域福祉活動計画、地域支援と個別支援、話し合いの場づくりと進め方、民生委員児童委員、災害支援等) ・ 新しい参加の形研究会(仮称)の実施(まちづくり・子ども・地域福祉・アウトリーチ型参加、等)など ・ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練へのサポート(県社協)
◆市民社会を支える制度やしきみづくり(2008年度～) —	・ 重層的支援体制整備事業における「話し合い」支援、
◆特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」(2004年度～) ＜<u>県外避難者支援</u>＞ 東日本大震災から14年が経過。避難が長期化し、避難者の特異性が見えにくくなっている現状がある。昨年度に引き続き、関係機関訪問を実施し、事業終了に向けて、これまでのネットワーク会議でつくってきた各市町村の関係機関へ引継ぎを行った。14回行った訪問のうち、石垣市、宮古島市は福島県職員と訪問することができた。2015年から沖縄じゃんがら会と協働で県外避難者支援事業を受託して10年、2024年度で当会の受託終了。 ＜<u>マチグワーに関すること</u>＞ ＜<u>地域福祉の推進</u>＞ 社協アドバイザー業務 ＜<u>介護保険事業所BCP策定支援</u>＞ 計画策定から、研修・訓練のニーズへ。保育分野これから	＜<u>県外避難者支援</u>＞ 次年度、沖縄じゃんがら会単独で事業を実施するにあたり、相談があった場合の対応を検討する。また、避難者支援事業の記録誌作成が計画されており、成果を検証し、記録に残す取り組みにどのように関わるか検討する ＜<u>マチグワーに関すること</u>＞ マチグワー楽会は、新しい公設市場のオープンに伴うマチグワーの変化の記録(聞き取りや定点観測)。 ＜<u>地域福祉の推進</u>＞ 社協アドバイザー業務について、取り組んだ過去3年で取り組んだ成果とメニューを発信。職員へのノウハウ共有と人材育成 ＜<u>介護保険事業所等のBCP策定支援</u>＞ BCP策定後の訓練や研修、計画見直し



多様な連携で実現する「尊厳を守る」沖縄の食支援を考えるシンポジウム



NPO法人等非営利組織専門家個別相談会（主催：沖縄県）



2025年2月22日：第17回マチグワール楽会



福島県外避難者支援事業 関係機関訪問(宮古島市役所)

社会課題を調査する 調査・研究 事業部

市民目線での地域課題の調査・研究。

●事業部門方針(2023年度)

- ①地域情報の調査・研究(2004年度～)
- ②地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議(2010年度～)
- ③中間支援機能に関する調査・研究
- ④地域の課題解決・価値創造のための「技術」の普及啓発ブックレット(2015年度～)
- ⑤各種委員会への委員派遣



まちぐわーの安心と安全を考える地域円卓会議

方針 番号	事業分類	実施時期		
①	地域情報の調査・研究	通年	■「融資事例を中心とした沖縄県内におけるソーシャルビジネス関連の現況(仮題)」に関する調査業務（委託者:(公財)みらいファンド沖縄))	350
		通年	■地域情報誌「み～きゆるきゆる」 vol.1-8販売中	37
		通年	■まちわく20周年記念事業 ・ わくわくnight☆まちわく20周年記念事業実行委員会の開催(計10回) ・ 8～12月ふりかえり&これから座談会(全3回) 参加者:第1回26名、第2回25名、第3回29名 ・ 11/12(火)つぎの10年ビジョンワークショップ 参加者:13名 ・ 1/10(金)新春!NPO・市民活動交流&意見交換会ー今までとこれからー 参加者:17名 ・ 2/23(日)machiwaku 20th anniversary 座談会&交流会 参加者:1部62名、2部48名 ・ 20周年記念グッズ(オリジナルエコバック、米米カバン、付箋紙&缶バッジ&マグネットセット)の販売 ・ 20周年記念誌発行の準備	480
②	地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議	通年	■地域円卓会議運営(19本:内4本は受託事業(那覇市・宜野湾市)として実施) ・ 4/13(土)誰もが生きやすい地域を考える地域円卓会議高志保 主催:社会福祉法人海邦福祉会 参加者34名 ・ 7/21(日)移動に関する認知症まちづくり地域円卓会議 主催:沖縄認知症見守りコンソーシアム 参加者:43名 ・ 8/4(日)食支援を通して尊厳を考える地域円卓会議 主催:公益財団法人みらいファンド沖縄 参加者4名 ・ 8/12(月)誰でも使える公民館あり方考える地域円卓会議 主催:宜野湾市、宜野湾市教育委員会 参加者8名 ・ 8/28(水)認知症まちづくり地域円卓会議北中城 主催:特定医療法人アガベ会、沖縄認知症見守りコンソーシアム 参加者2名 ・ 10/12(土)【第2弾】若年性認知症に関する地域円卓会議 主催:沖縄県認知症見守りコンソーシアム、合同会社GreenStarOKINAWA 参加者:20名 ・ 10/27(日)若狭地域における部活動の地域移行を考える地域円卓会議 主催:那覇市 参加者9名 ・ 11/7(木)渡名喜観光島づくり地域円卓会議 主催:渡名喜村 参加者2名 ・ 11/13(水)子どもの体験保障を考える地域円卓会議 主催: 参加者:名 ※板書派遣 ・ 11/17(日)持続可能な地域拠点を考える地域円卓会議 主催:那覇市 参加者4名 ・ 12/5(木)沖縄市における自立支援のゴールを目指した食支援について考える地域円卓会議 主催:沖縄市社会福祉協議会 参加者名 ・ 1/10(金)【第2弾】認知症まちづくり地域円卓会議首里 主催:沖縄県認知症見守りコンソーシアム、特定非営利活動法人グランアーク 参加者8名 ・ 1/20(月)まちぐわーの安心安全を考える地域円卓会議 主催:那覇市議会議員外間ゆり 参加者:38名 ・ 1/31(金)【第4弾】認知症まちづくり事後評価地域円卓会議 主催:沖縄県認知症見守りコンソーシアム 参加者5名 ・ 2/4(火)共同堆肥舎とローカルSDGsを考える地域円卓会議 主催:琉球大学共創拠点運営部門地域共創プロジェクトチーム 参加者0名 ・ 2/8(土)なはSDGs円卓「社会を変えるお金の使い方考える地域円卓会議」 主催:那覇市 参加者0名 ・ 2/14(金)歴史文化遺産の保存・活用に関する地域円卓会議 主催:うるま市教育委員会 参加者9名 ・ 2/19(水)渡嘉敷村の観光と暮らしを考える地域円卓会議 主催:渡嘉敷村 参加者5名 ・ 3/1(土)シングルマザー世帯の切れ目ない支援を考える地域円卓会議 主催:公益財団法人オリオンビール奨学財団 参加者名	4,399
③	中間支援機能に関する調査・研究		■持続可能な地域社会を実現する中間支援機能の検証と展開 研究会 ・ 日本NPO学会での発表／2024/6/16 ・ 新しい中間支援機能に関する研究会・公開シンポジウム(沖縄会場)2024/8/5	410
⑤	委員派遣	通年	・ 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員／沖縄県共同募金委員会評議員／那覇市社会福祉協議会評議員／災害時における災害ボランティアセンター運営に関する関係機関連絡会／うるまキッズサマースクール実行委員会委員	22

ふりかえり	申し送り
◆地域情報の調査・研究(2004年度～)	
＜まちわく20周年記念事業＞ ・ わくわくnight☆まちわく20周年記念事業実行委員会の開催(計10回) ・ 8～12月 ふりかえり&これから座談会(全3回) ・ 20周年記念誌発行の準備(打ち合わせ12回)	・ 記念誌作成
◆地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議(2010年度～)	
・ みらいファンド沖縄と共同で開催し、14年目 ・ 19本対応 うち対面16本、対面＋録画2本、派遣1本 ・ 出張を伴う離島(渡名喜・渡嘉敷)での開催を2回実施 ・ 食支援事業(休眠)の円卓会議では、PDの安谷屋貴子さんが司会を務めた ・ 金城陽平が板書記録に初挑戦、また、かわさきイラスト教室代表の川寄紋さんに円卓会議での板書を初依頼し、板書の人材育成にチャレンジすることができた ・ 参加者の少ない円卓会議があり、広く課題を共有できなかったことが残念。一方で主催側から広く関係者へ告知をしていただいたことで、定員を超える集客に成功した円卓が見られた(うるま市や琉大など)良い例として今後参考にしていきたい	・ 「地域円卓会議」後の次の展開につながるプログラムづくり(アフター円卓会議のプログラム化)を検討 ・ 地域での開催を想定した「簡易版・地域円卓会議」のプログラム化を検討 ・ 司会と板書の人材育成 ・ みらいファンドとの業務分掌、それぞれの役割を明確にする ・ 物価高騰に伴い人件費の見直しをふくめた、価格設定の改定を検討 ・ 今後県外からの発注見込みがあり、出張費などの改定を検討
◆地域の課題解決・価値創造のための「技術」の普及・啓発(ブックレット)(2015年度～)	
・ 書籍「地域コミュニティ支援が拓く協働型社会ー地方から発信する中間支援の新展開」の「11章 沖縄式地域円卓会議の運営と展開」を執筆(宮道)	
◆委員派遣(2004年度～)	
—	・ 継続して対応していく



共同堆肥舎とローカル SDGsを考える地域円卓会議



渡名喜観光島づくり地域円卓会議



歴史文化遺産の保存・活用に関する地域円卓会議



社会を変えるお金の使い方を考える地域円卓会議

総務部

法人の円滑な運営。

●事業部方針(2024年度)

- ①働きやすい職場、職員の福利厚生及びスキル向上のための環境整備
- ②経営環境の変化への対応
- ③総務業務の効率化・負担軽減
- ④法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上
- ⑤理事会における適切な判断のための情報提供
- ⑥会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会づくり



方針 番号	事業名	実施 時期	事業の概要
①	働きやすい・活動しやすい・スキル向上のための環境整備	通年	■人事 ・2024年4～2025年3月：非常勤職員（樋口文）採用 ■労働環境 ・健康診断実施状況：全職員受診、健診オプション（上限 2万円まちわく負担可） ・理事による職員面談の実施（4月金城陽平、5月樋口文、3月樋口文） ■人材育成（研修参加）
②	経営環境の変化への対応	—	
③	総務の効率化・負担軽減	通年	■会計 ・月次会計（黒字2ヶ月、赤字10ヶ月） ・給与計算ソフトはPX2、労務管理ソフトはジョブカン、MoneyLink（金融明細の一元管理アプリ）、インボイス制度対応請求書等作成クラウドソフト「インボイス王」を継続使用。
		通年	・【税務】大城税理士事務所と顧問契約及び一部業務委託 ・【労務】とまと社労士オフィスと顧問契約及び一部業務委託
④	法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上	通年	■代表変更に伴う各種手続き ・6月、代表理事に「宮道喜一」にが就任 ・代表変更に伴う各種手続き（所轄庁、法務局、国税、県税、市税、労働局、金融機関、市町村行政（債権者登録の変更）、クレジットカード会社等） ■広報 ・2024年5月HPをリニューアル（業務委託先：Olde武田佳子） ・メールマガジンの発信（8回）
⑤	理事会における適切な判断のための情報提供	通年	■組織運営 ・総会の開催（5月）、臨時総会の実施（6月） ・理事会の開催（年7回）、理事ミーティングの開催（年2回） ・拡大理事会の開催：20周年事業「つぎの10年ビジョンワークショップ」として実施（11月）

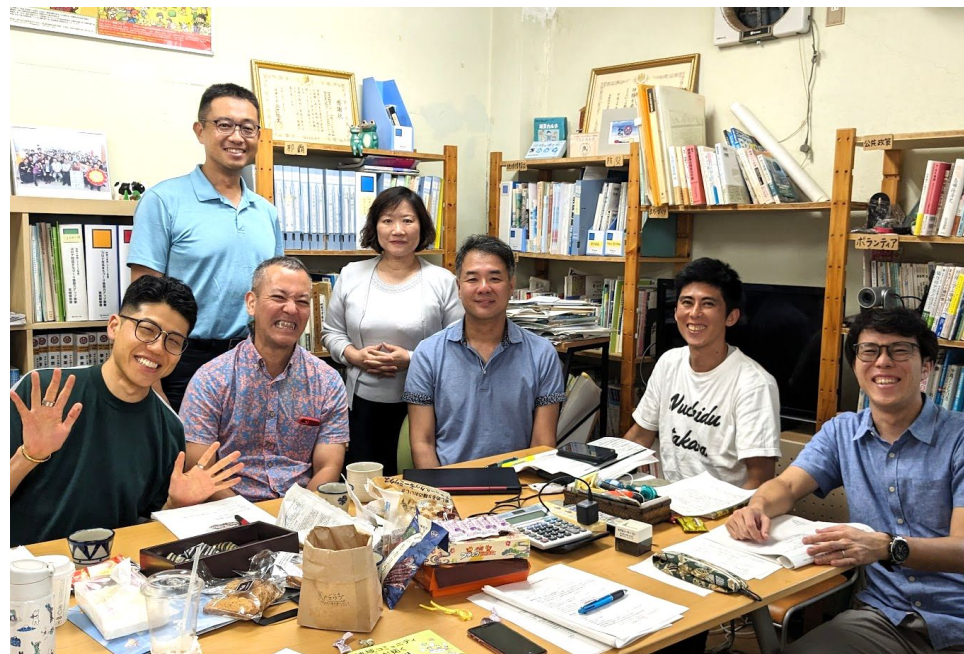
ふりかえり	申し送り
<u>非常勤職員の採用</u> 2023年度から引き続き、非常勤職員（樋口）を採用。20周年事業（記念誌、座談会、円卓会議業務）を担当。主に在宅勤務。 <u>総務の効率化・負担軽減を図った</u> - 会計ソフト「会計王」とインボイス制度対応請求書作成ソフト「インボイス王」を連動させることができるが、今年度は連動作業ができなかったため次年度行い、会計入力負担を減らす。 <u>職員の基礎スキル向上のための機会</u> <u>理事によるスタッフ面談の実施</u> - 職員（金城・樋口）の理事面談を実施 <u>「拡大理事会」として「つぎの10年ビジョンワークショップ」を実施</u> - 理事、会員とともに、まちわくの合言葉「みんなが『決めて』みんなが『つくる』そんな社会づくりのために、まちわくは人と組織を『つなぎ』『話し合う』場と社会環境をつくります。」の振り返りを行い、次の10年でまちわくが大事にしたいことを出し合いうなどビジョンについて検討した。 <u>ホームページをリニューアル</u> - 設立20周年に合わせてホームページのリニューアルを行った。HPをみて20周年イベントに参加する方や会員問合せがあるなど、リニューアルの効果が見られた。 <u>会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会づくり（勉強会）は未着手</u> 2023年度の賛助会員は3名（4口）だったが、2024年度は増えて5名（6口）となった	<u>働きやすい職場環境の整備</u> - 育児、介護休業法の改正に伴う就業規則の改正を行う - 電子帳簿保存に対応する証憑保存のルールを職員全体に共有する - 在宅ワークの環境・ルールづくりに着手 - 事務所のワークスペースの環境向上（机・照明・インターネット環境等の整備） <u>職員の待遇・福利厚生及びスキル向上のための環境整備</u> - 全職員、健康診断を受診する - 業績に応じての期末手当の支給（3月） <u>証憑のクラウド管理</u> - 電子帳簿保存に対応する証憑保存のルールを職員全体に共有する <u>総務業務の効率化・負担軽減</u> - 引き続き士業との連携、請求書ソフト（インボイス制度対応）システムを使用 <u>法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上</u> - 以下の定款変更を行う （任期等）第16条：理事任期の短縮を可能とする一文「役員の任期を任期満了直前の総会までとする」がなく、現在理事の任期がバラバラのため変更する （報酬等）第19条：組織運営を円滑に行うために、役員の職務執行のために要した費用弁償に関する必要事項の議決を「総会」から「理事会」に変更する - メールマガジンのFacebookへの転載発信 <u>文書の管理・整理</u> - 文書規定や経理規定の策定 <u>理事会における適切な判断のための情報提供</u> <u>会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会</u> - 正会員が20名に満たない年度が続いている。今後どのような活動を行うのかを示し、共に取り組みたい層へのアプローチなど、会員を増やす取り組みを行う - 交流の機会を設ける



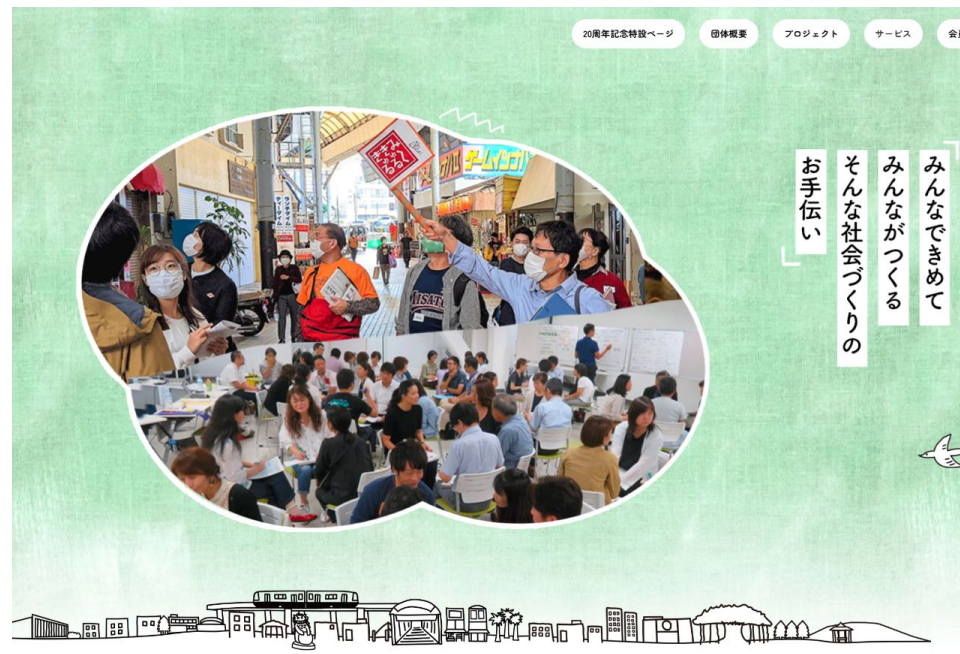
2024年4月 事務所にて監査の実施



2024年5月 てる屋にて通常社員総会を開催



2024年4月 事務所にて決算理事会を開催



2024年5月 HPのリニューアル

2024年度 役員・会員名簿

理事	小阪 亘（代表理事・常務） 宮道 喜一（副代表理事・常務） 與儀 隆一 岩田 直子 南 信乃介 親泊 正樹 川中 大輔（社外理事）	正会員 （16名）	岩田 直子、小阪 亘、小阪 孝義、 野原 巴、宮道 喜一、與儀 隆一、 親泊 正樹、南 信乃介、佐藤 学、 知念 忠彦、饒波 正博、賀数邦彦、 平中晴朗、平良 光弥、金城 完紀、 萩原雄三
監事	伊良皆 和弘 喜屋武 真司	賛助会員 （5名）	（一社）wellbeDesign、續洋子 上原千加子、長嶺亜希子、新垣理貴



特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく
2024年度(令和6年度)事業報告書 -第21期-

〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-7-5 民衆ビル4F
TEL & FAX: 098-861-1469
Email: office@machiwaku.com

<https://machiwaku.com/>